

南知多町 山海地区 振興基本計画

発行・編集 ● 南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日 ● 平成 25 年 3 月



山海地区の将来像
自然と活力にあふれ
安心して暮らせるまち

計画の趣旨 この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過 地区住民会議を3回開催しました。第1回 平成 24 年 11 月 7 日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成 24 年 12 月 12 日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成 25 年 1 月 16 日『地域の振興計画案の仕上げ』

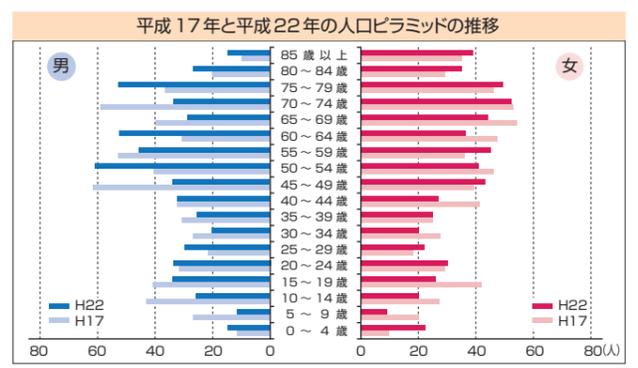
山海地区の概況

- ① 地区の概況
- ・山海地区は国道 247 号沿いや海岸沿いに市街地が形成されている地区で、名前のとおり山と海の幸が豊富な地区です。
 - ・夏には海水浴客でにぎわっています。海水浴場は波が静かで、家族連れに人気です。また、西海岸は若者のサーフスポットとして有名です。さらに、一年を通じて釣りのポイントにもなっています。
 - ・地区内には弘法大師が訪れたお寺や、三重塔など、歴史・文化資源も豊富にあります。



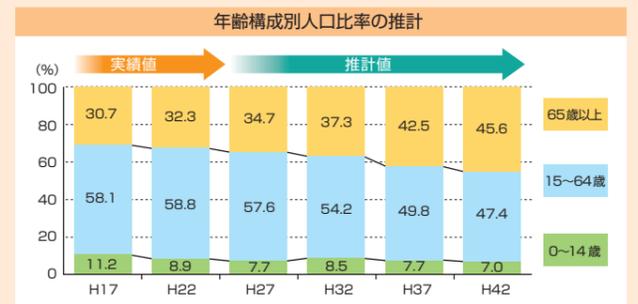
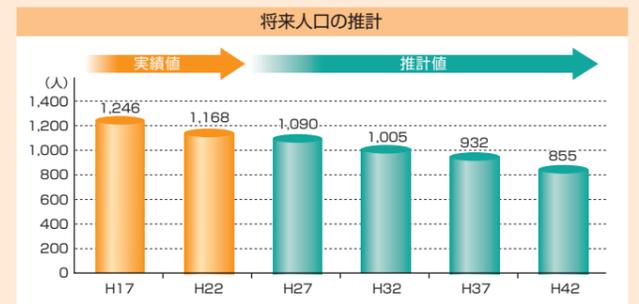
人口・世帯の状況（平成 22 年国勢調査）				出生数の推移					
総人口	1,168 人	0～14 歳	104 人	高齢化率	32.3%				
男性	583 人	15～64 歳	687 人	世帯数	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
女性	585 人	65 歳以上	377 人	平均世帯人員	3 人	4 人	16 人	3 人	3 人

- ② 地区の人口
- ・地区の人口は 1,168 人、世帯数は 388 世帯で、町全体の人口の 5.7% を占めています。
 - ・年齢別にみると、「0～14 歳」が 104 人、「15～64 歳」が 687 人、「65 歳以上」が 377 人で、65 歳以上の高齢化率は 32.3% となっており、町全体の高齢化率 29.6% よりも高くなっています。
 - ・人口ピラミッドをみると、男性では「50～54 歳」、女性では「70～74 歳」が多くなっていますが、年々少子高齢化が進行しています。



将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成 32 年には 1,005 人、平成 42 年には 855 人となると推計されています。
- ・65 歳以上高齢化率も平成 32 年には 37.3%、平成 42 年には 45.6% になると推計されています。



山海地区の主要課題

課題① 生活交通の利便性の向上
海っ子バスの本数が少なく、駅が遠いなど車以外の交通利便性が低くなっており、通勤・通学にも影響があります。また、買い物や通院などの生活に必要な交通環境の整備が求められています。

課題② 若者の定住促進
雇用の場が乏しく、通勤・通学環境が悪い、また、住む場所がないなど、若者が町外に流出しています。地域の活力の低下にもつながることから、若者の定住促進が求められています。

課題③ 観光業の活性化
山海地区の大きな観光資源である山海海水浴場の利用者が減少しています。海のイメージが強く、海以外の観光資源や観光客が足を留める商業施設などが少ないことから、新たな観光資源の創出が求められています。また、駐車場等、観光客がゆっくり観光を楽しめるような施設整備が求められています。

課題④ 都市基盤の整備・老朽化への対応
地区内には、低・未利用地や耕作放棄地が多くあるため、その有効活用が求められています。また、高齢化等に伴い、今後も耕作放棄地が増える可能性があるため、その対応が必要です。土地利用や施設整備を検討する際は、住民の意見を取り入れて進めていくことが求められています。安全に安心して通行できる道路整備が必要です。

課題⑤ 災害に強いまちづくり
海岸沿いに住宅が立地する地区もあり、津波による危険性もあります。高地へ行ける道が未整備なところもあり、災害時の避難に不安があることから、安心して避難できる避難路や津波一次避難場所を確保することも必要です。ゲリラ豪雨など大雨の際に河川が氾濫することもあり、早急な河川整備が必要です。

まちづくりの目標

目標 1
若い世代が
住み続けたい
まち

若い人たちの意見を聞きながら、通勤・通学がしやすい海っ子バスの利便性の向上や子どもの教育環境の充実、雇用の創出を図ることで、若い世代が住み続けたいまちをめざします。



目標 2
歴史と自然に
あふれる
観光のまち

町全体を観光のまちとしてコーディネートする中で、海だけではなく、里山等の緑を生かしたウォーキングコースなどを整備し、地区独自の体験事業を行うなど歴史と自然にあふれる観光のまちをめざします。



目標 3
都市基盤が
整った
安全・安心な
まち

現在うまく活用できていない土地について、山海地区にふさわしい土地利用の検討を進めます。また、道路や避難場所などを整備し、都市基盤が整った安全・安心なまちをめざします。

1 若い世代が住み続けたいまち

公共交通

-  **公共交通の充実の検討**
 - 通勤・通学時間帯の運行本数の拡大、運行経路やバス停の見直しなど、海っ子バスの充実の検討
 - 乗車人数を考慮した車種や、より住宅の近くを走るルート、デマンドバスの導入など、山海地区にあった公共交通の検討

教育

-  **安全・安心な通学環境の整備**
 - 子ども達が安全・安心に通学することができる自転車通行帯の整備
-  **学童保育のスペースの充実**
 - 利用しやすい学童保育にするための学童保育スペースの充実
-  **子育てしやすい環境の整備**
 - スクールバスなどを活用した通園時の移動手段の確保

雇用

-  **若い人の雇用の確保**
 - 若い人の雇用を確保するための企業誘致、地場産業の活性化

その他

-  **若い人たちの意見を聞く場の設置**
 - これからの山海地区の担い手である若い人たちの意見を聞くための場の設置
-  **山海ふれあい会館を活用した地区集会所の整備**
 - 地域の中心部に位置する山海ふれあい会館(旧山海小学校)を地区全体が集まれる集会所として整備

2 歴史と自然にあふれる観光のまち

観光

-  **観光交流ゾーンの整備 ( 観光交流ゾーンの整備)**
 - 岩屋寺を中心とした歴史的な観光交流ゾーンや、砂浜を中心とした海沿いの観光交流ゾーンの整備
-  **日本一の桜並木の整備**
 - (県)岩屋観音線に沿って日本一の桜並木を整備
-  **護岸の遊歩道化の要望**
 - 観光資源として活用するため、県が整備予定の護岸の遊歩道化を県に提案・要望
-  **自然的景観と調和した観光商業施設の整備**
 - 内海から山海までの国道247号沿線に、新しく観光商業施設を整備する際は自然的景観と調和するように配慮して整備
-  **宿泊施設、観光客向け店舗等の誘致**
 - 宿泊客、観光客が気軽に食事ができる場やお土産を買うことができる場の整備と、店舗の誘致
-  **町全体の観光コーディネート推進**
 - 地区を超えた南知多町全体の観光コーディネートの推進
 - 地引き網体験、農業体験など体験事業の充実と、町全体で体験事業を取りまとめる体制・事務局の整備
-  **魅力づくりボランティア隊の整備**
 - 自然の良さを守り、山海地区の魅力づくりを主体的に進める魅力づくりボランティア隊の整備

自然

-  **豊かな自然と親しめる場の整備 ( 豊かな自然と親しめる場の整備)**
 - 丘陵部の植林地や自然環境、荒廃地を活用し、農業体験施設・市民農園、ドッグラン、子どもが走り回ることができる公園など、豊かな自然と親しめる場を整備
 - 山チゴ池周辺へのアスレチックの整備
-  **植林地・自然環境の維持・保全 ( 樹林地・自然環境の維持・保全)**
 - 丘陵部の植林地や自然環境を維持・保全

ウォーキングコースの整備

- 観光客も地域住民も利用できるウォーキングコースと、歩いて楽しい距離などを示した看板や観光スポットの案内版、休憩所を他地区と連携して一体的に整備

ハイキングコースの整備

- かつての古道を活用した豊かな自然の中を歩くハイキングコースと、見晴らし台の整備

マリンスポーツ客の受け入れ環境整備

- マリンスポーツ客の受け入れに関する方針・ルールづくり
- マリンスポーツ客のニーズを把握し、利用しやすい海岸に向けた、駐車場やシャワー設備などの環境整備

山海の観光マップの作成

- 海以外の観光資源もわかりやすいように、山海地区の観光ポイントとなる魅力的な資源を載せた観光マップを作成

3 都市基盤が整った安全・安心なまち

市街地整備

市街化区域内の低未利用地における都市基盤の早急な整備

- 市街化編入した土地を有効活用するための土地利用規制の緩和
- 都市基盤整備を進めるための仕組みの検討

地区計画などによる都市的土地利用への転換の検討

- 地域にふさわしいまちづくりを進めるため、みんなで合意を図りながら土地利用について検討

耕作放棄地を手放すための支援制度の構築

- 耕作放棄地を有効活用するため、土地の譲渡手続きなどの支援制度の整備

施設整備のルールづくり

- 新たな施設の整備にあたってのルールづくり

地域の商業を守る取組みの推進

- 地域の商業を守るため、住民が積極的に地域の商業施設を利用する取組みの推進

住宅整備

週末居住や二地域居住の促進

- リゾートマンションに周辺の遊休農地なども組み合わせて、週末居住や二地域居住による定住・交流人口の増加を促進

道路整備

細街路の再編・整備(狭隘道路の解消) / 広域農道の整備

-  (県)岩屋観音線の整備(拡幅、ガードレール・歩道などの設置)
-  (町)内海山海線の整備(拡幅等の機能強化)
-  (県)奥田内福寺南知多線の整備(拡幅等の機能強化)

漁港・河川整備

農業用排水路の整備 / 山海漁港の漁港施設老朽化対策

-  山海川の早期整備(堤・川幅等の改修)
- ゲリラ豪雨にも対応できる護岸の整備と、堤防の長寿命化

防災

津波一次避難場所及び避難路の整備

- 身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
- すべての津波一次避難場所に車で避難できるよう避難路の拡幅や舗装の整備、草刈り等の強化
- 避難場所や避難路を示す案内板などを設置し、住民への周知徹底

植林地の土砂災害などの対策

- 土砂災害による被害を防ぐため、植林地に必要な施設を整備

山海地区振興基本計画図

将来像

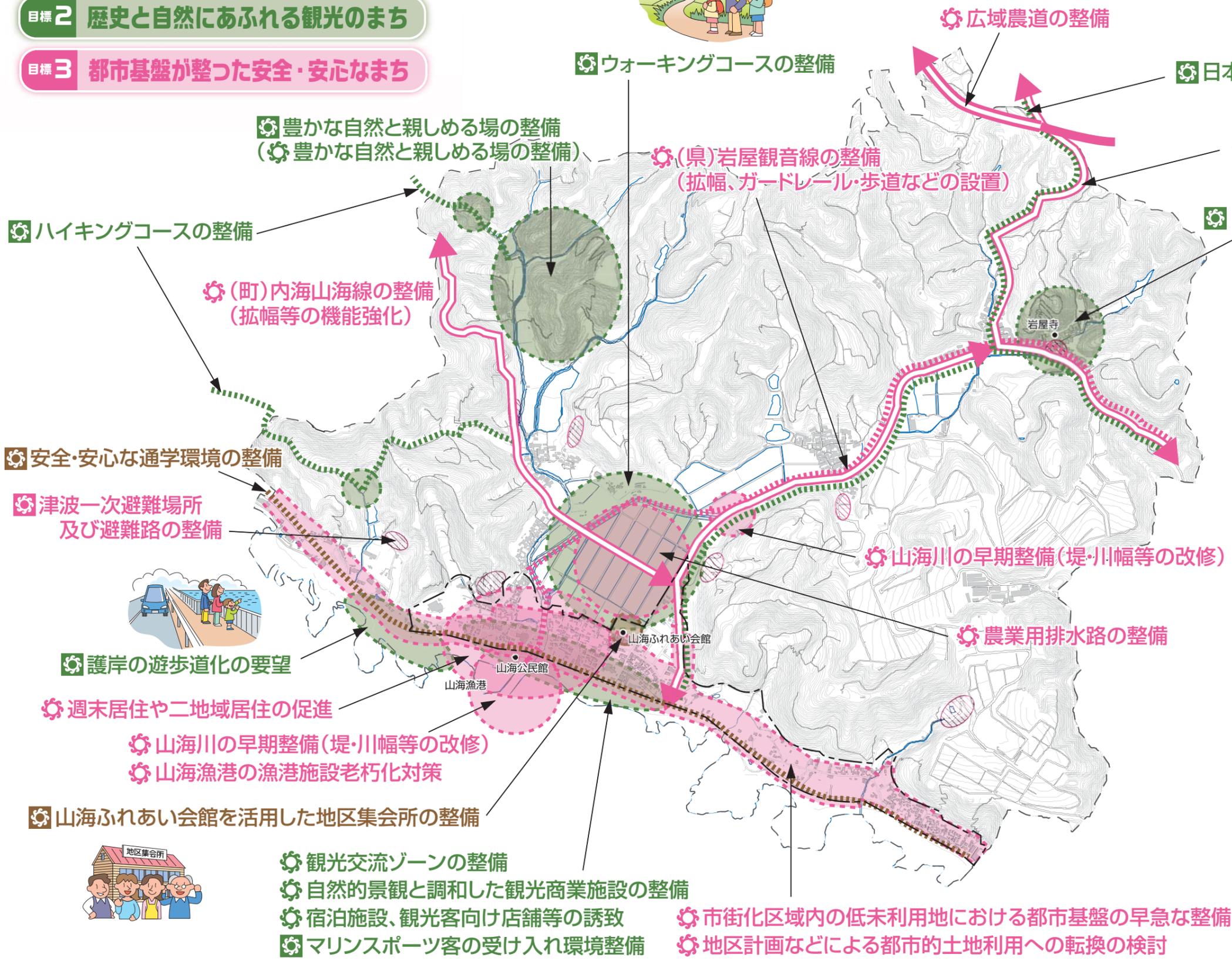
自然と活力にあふれ
安心して暮らせるまち

まちづくり目標

目標1 若い世代が住み続けたいまち

目標2 歴史と自然にあふれる観光のまち

目標3 都市基盤が整った安全・安心なまち



- ### 地図に表示できない事業
- 公共交通の充実の検討
 - 学童保育のスペースの充実
 - 子育てしやすい環境の整備
 - 若い人の雇用の確保
 - 若い人たちの意見を聞く場の設置
 - 町全体の観光コーディネートの推進
 - 魅力づくりボランティア隊の整備
 - 植林地・自然環境の維持・保全 (樹林地・自然環境の維持・保全)
 - 山海の観光マップの作成
 - 耕作放棄地を手放すための支援制度の構築
 - 施設整備のルールづくり
 - 地域の商業を守る取組みの推進
 - 細街路網の再編・整備 (狭隘道路の解消)
 - 植林地の土砂災害などの対策

凡例	
市街化区域	-----
目標1 若い世代が住み続けたいまち	■■■■■■
目標2 歴史と自然にあふれる観光のまち	■■■■■■
目標3 都市基盤が整った安全・安心なまち	■■■■■■
道路：未整備	====
道路：整備済	■■■■
津波一次避難場所	〰〰〰〰